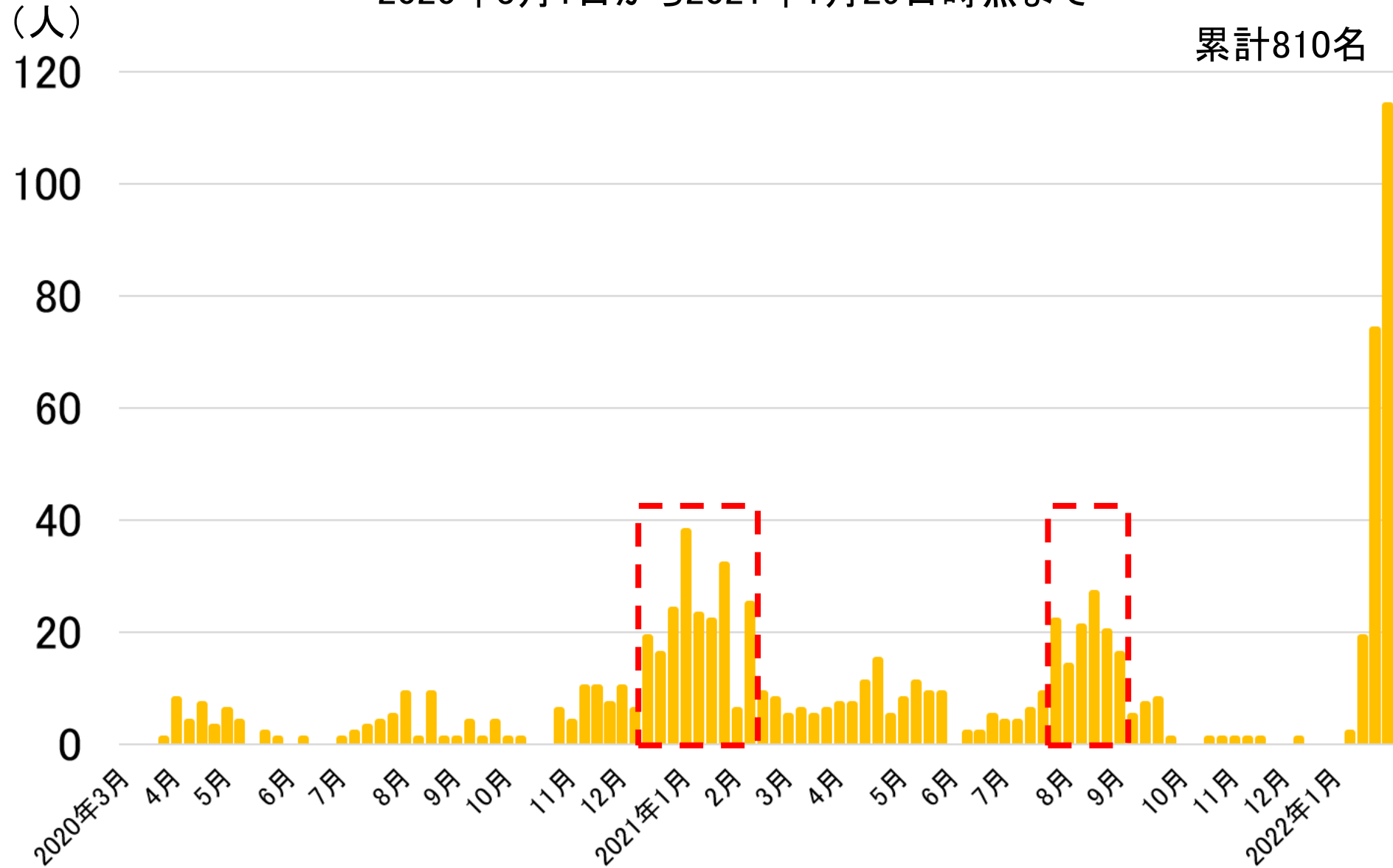


東京都における 新型コロナウイルスに感染した 透析患者の診療体制確保について



東京都の透析患者における新型コロナウイルス感染者数

2020年3月1日から2021年1月29日時点まで



東京都における新型コロナウイルスに感染した透析患者 (コロナ陽性透析患者)への医療体制

対象：都内透析医療機関(病院)管理者



- 2021年9月30日(木)
新型コロナウイルス感染症に感染した透析患者受入れに向けた
病床の確保に係る説明会
- 2021年10月1日(金)
透析患者の受入強化に向けた診療体制の確保(要請)
新型コロナウイルス感染者情報システム病院ポータル^oの開設
- 2021年10月25日(月)
透析医療機関(病院)向け新型コロナウイルス感染症対策に係る研修会

	内容	講師
1	都内での透析患者の感染状況と受入状況及び平時からの透析室の感染対策について	下落合クリニック 院長 菊地勘先生
2	コロナ受入病院における透析室でのCOVID-19への感染対策の総論	東京医科大学病院 感染制御部 准教授 中村造先生
3	実際に受入れを行っている病院における受入体制や地域連携について	
	① 23区の入院病院でのコロナ透析患者の受入れ	東京都保健医療公社大久保病院 副院長 若井幸子先生
	② 多摩地区の入院病院でのコロナ透析患者の受入れ	東京医大八王子医療センター感染症科 教授 平井由児先生
4	ディスカッション	東京医科大学病院 副院長 菅野義彦先生

令和3年12月 透析が実施できる 高機能型の酸素・医療提供ステーションを開設

- 旧赤羽中央総合病院跡地を活用
- **人工透析**、中期滞在を可能とする高機能型酸素・医療提供ステーション
- **入院加療後、症状は安定しているが退院基準を満たしていない患者**（下り）、軽症の患者（上り）を中心に受入れ
- ベッド数：最大150床（**人工透析用10床**）
- 透析実施日：火・木・土・日曜日



コロナ陽性透析患者の初療判断目安

重症度 (診療の手引き)	酸素飽和度	自立度	中和抗体薬 の適用	療養先	申込み先
無症状*1	≥96%	自立	×	自宅（外来透析）	(搬送) 維持透析医療機関 ⇒都庁搬送窓口or保健所
		要介助		入院	保健所⇒入院調整本部
自立*2		○	自宅（外来透析）	(搬送) 維持透析医療機関 ⇒都庁搬送窓口or保健所	
			酸ステ赤羽	保健所⇒酸ステ赤羽	
要介助		○	入院	保健所⇒入院調整本部	
中等症Ⅰ		93<SpO2<96%	不問	○	入院
中等症Ⅱ	≤93%	不問	×	入院	保健所⇒入院調整本部
重症		不問	×	入院	保健所⇒入院調整本部

*1 透析以外にコントロール不良な重症化リスクがある場合は入院調整も検討

*2 外来透析が困難な場合は酸ステ赤羽での療養

東京都における新型コロナウイルスに感染した透析患者 (コロナ陽性透析患者)への医療体制



- 2022年1月21日(木) : 都内透析医療機関(病院)管理者宛て
新型コロナウイルスに感染した透析患者の受入れ強化に向けた
診療体制の確保について(協力依頼)
- 2022年2月4日(金)
1月21日付通知の説明会
- 2022年2月4日(金) : 都内透析医療機関(病院、診療所)管理者宛て
新型コロナウイルスに感染した透析患者の診療体制の確保について(協力依頼)
- 2022年2月7日(月)
2月4日付通知の説明会

	内容	講師
1	都内COVID-19の現況と対策	東京都透析医会幹事 菊地勤先生
2	外来透析の搬送、中和抗体薬療養について	東京都福祉保健局
3	酸素・医療提供ステーションにおける透析患者への対応	日本大学腎臓・高血圧・内分泌内科教授 阿部雅紀先生
4	外来透析医療機関における感染対策について	東京医科大学病院感染制御部准教授 中村造先生
5	入院医療機関における透析コロナ患者対応	東京都保健医療公社大久保病院副院長 若井幸子先生
6	感染拡大期における透析医療体制・総括	東京医科大学病院副院長 菅野義彦先生

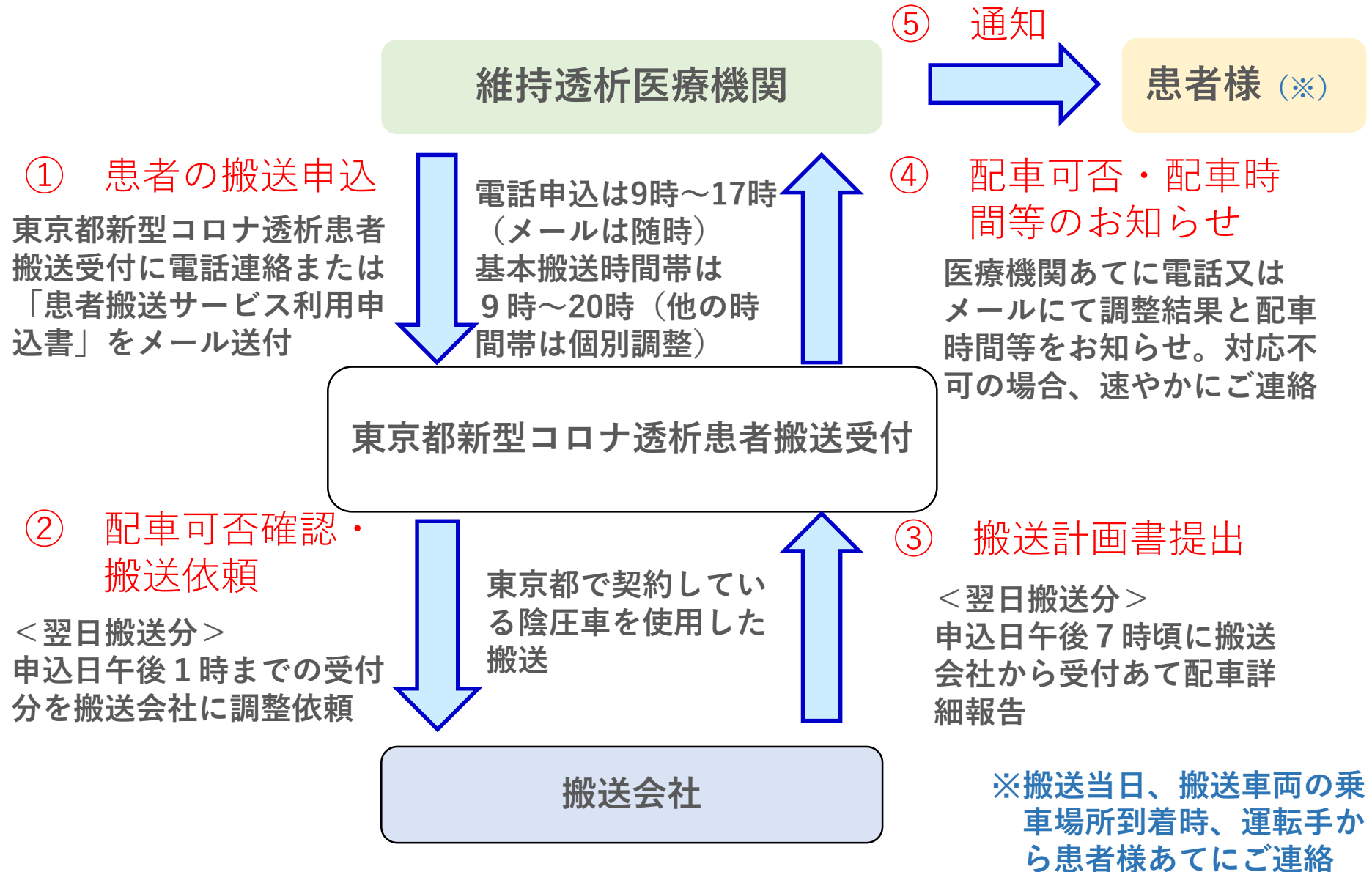
かかりつけ維持透析医療機関において
外来透析を実施するにあたって

1. コロナ陽性透析患者の搬送手段の確保
2. 重症化予防のためのソトロビマブ（ゼビュディ®）
投与体制の確保

1. 搬送

- 2月5日（土）より、東京都新型コロナ透析搬送受付を開設
- 陰圧タクシーにて、患者さんのご自宅と医療機関間を送迎
- コロナ陽性透析患者の外来透析を実施する医療機関からの申込みを受付
- 基本搬送時間は、9時～20時（土日祝日も運営）
- 対応時間外の搬送、当日中の調整依頼、乗降に介助が必要な患者さんの搬送は、これまで通り、患者所在地保健所にご相談を

維持透析医療機関への患者搬送の流れ

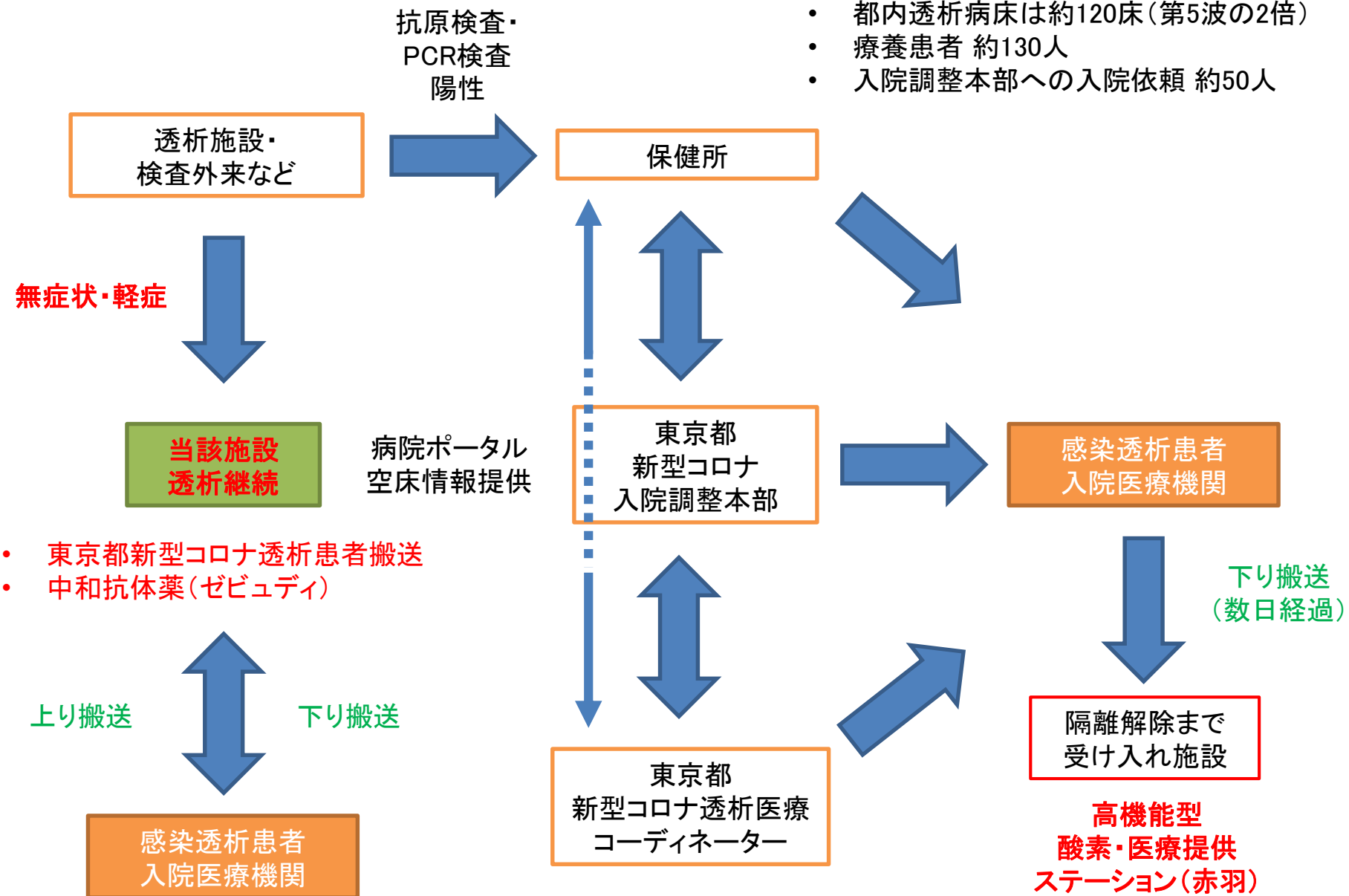


2. 重症化予防

酸素・医療提供ステーションにおけるソトロビマブ投与

- 維持透析医療機関にて、モルヌピラビル、ソトロビマブの投与体制がまだ整っていない場合における、ソトロビマブ投与体制の構築
- 申込み翌日の投与を調整
 - ⇒ 申込日現在、発症 6 日目以内
 - 軽症・中等症 I の患者が対象（無症状は対象外）
- 投与当日は酸素・医療提供ステーションに 1 泊滞在して経過観察し、翌日退所
- 入所・退所の搬送は、酸素・医療提供ステーションが調整
- 維持透析医療機関より、希望の酸素・医療提供ステーションに申込み

東京都におけるコロナ陽性透析患者への医療提供体制



感染拡大期における透析医療体制まとめ

(2/7 透析医療機関説明会におけるメッセージ)

- ✓現在、コロナ陽性透析患者の急増により、全ての患者を入院させることができません
- ✓病院は、中等症以上の上り患者を受け入れてください
- ✓無症状・軽症者は入院できないため、自宅療養となります
外来維持透析医療機関は、自宅療養者の外来透析を実施してください
- ✓重症化予防のため、モルヌピラビル、ソトロビマブを積極的に投与してください
- ✓入院を要する患者についても、入院待機中の透析はかかりつけ維持透析医療機関にて確実に実施してください
- ✓また、退院基準を満たした患者の外来透析を確実に実施してください
- ✓コロナ陽性透析患者の外来透析実施にあたっては、ガイドラインに則った感染対策を実施してください